

病棟名：6 西病棟

病床数：40 床

スタッフ人数：看護師長 1 名・副看護師長 2 名
スタッフ 26 名・アシスタント 3 名・事務アシスタント 1 名
男性看護師 3 名



部署の雰囲気：

師長、副師長はじめ明るく優しいスタッフが多いです。医師、理学療法士、作業療法士、言語療法士も一緒になり部署全体で協力してあって患者ケアに取り組んでいます。
忙しい毎日ですが、スタッフ同士、協力して業務に取り組んでいます。
また、人間関係もよく年齢、職種に関係なくしっかり自分の思ったことを言える雰囲気があります。

スタッフからのメッセージ：

私たちの病棟は、脳神経外科・内科で、脳や脊髄、神経、筋肉の病気の患者さんが入院しています。
外科では脳卒中や脳腫瘍などの手術を行っています。
患者さんの持てる力を最大限に引き出せるように他職種が連携し、各専門スタッフが日々患者さんに関わっています。
その中でも、看護師は常に患者さんの一番近くに寄り添い、患者さんのことを理解している存在です。
元気になっていく姿や、できなかったことができるようになっていく姿を見ることが一番近くにいる看護師のやりがいです。
是非、私たちと一緒に働きましょう。

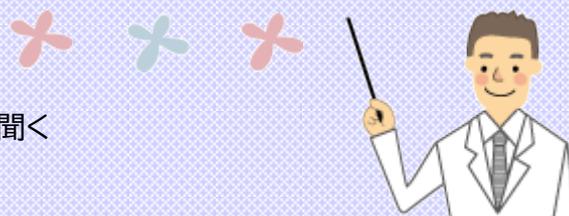
部署の自慢できることは：

脳神経外科、神経内科の病棟で脳外科では脳腫瘍、脳梗塞、脳出血などの疾患が多く、一般病棟のなかでも全身管理を含めて高度な急性期医療を学べます。
神経内科では脳梗塞、ALS、パーキンソン病、ギランバレー症候群、多発性硬化症などの疾患が多く神経内科でしか学べない事例が多くあります。
当病棟のスタッフは脳神経疾患の急性期から全身管理まで対応できる看護師がそろっています。
脳卒中リハビリテーション認定看護師1名も在籍しており指導体制も充実しています。

師長(管理者)からのメッセージ：松本 ひろみ

モットー：素早く丁寧に

大切にしていること：患者・スタッフの話をしっかり聞く



6 西病棟は脳神経外科と脳神経内科の混合病棟です。

脳神経外科、脳神経内科の患者様は、脳や神経にダメージを受け多くのケアを必要としています。残された機能の低下を防ぎ、退院後、残された機能を最大限に活かせるように様々な医療スタッフが関わっています。

日常生活動作に関するケアも多いことから、リハビリの先生やスタッフとも密に連携、協働しながら看護を提供しています。

部署のビジョンは『常に患者さんの尊厳を意識し、丁寧に細やかな看護を提供します』です。

それぞれの患者さんのその人らしさを大切にし、生きる力を支えながら看護を行っています。

毎日の業務が大変でつらいこともありますが、みんなで協力し、患者さんの看護を行っています。

6 西スタッフの特徴は、明るく優しいスタッフが多いです。

患者さんの看護では、みんなで一緒に患者さんに関わっていることから、和気藹々とした雰囲気です。

新任者も毎年来てくれますが、先輩方もみんな優しく、とても仕事がしやすいと言ってくれます。

是非一緒に働きながら、多くのことを一緒に学びましょう。